

“新渡戸”の名にふさわしく

幕末の世に生まれた新渡戸稲造。数々の偉業から、日本を象徴する国士として紙幣の肖像を担いました。農学者、倫理哲学者として学問を究め、戦乱の世に世界の平和に尽くした日本国際人の父。第一次大戦後の国際連盟事務次長も務めます。札幌農学校、京都帝国大学、旧制一高、東京帝国大学などの教授や校長を歴任。日本が世界に認められるための教育への献身も際立ちます。特に女子教育の必要性を唱えました。大正期は東京女子大学学長として力を注ぎました。

森本厚吉は、昭和初期、東京女子経済専門学校を開きました。初代校長として、師の新渡戸稲造を招きました。博士の精神が丁寧に注がれました。長年、「東京文化」の名で女子たちを導いた学舎の源流です。2010年、建学の精神を確かめ、「新渡戸」を校名に掲げました。今、「新渡戸文化」の女子たちは、気持ちも新たに、日々の生活に努めます。

● NITOBÉ TOPICS

新渡戸稲造が流麗な英文で記した「Bushido: The Soul of Japan (武士道)」。

美しいジャパンスピリットを世界に知らしめた名著です。

その気概は新渡戸文化の教育にも映ります。国際的な感性を身にまとうために、基盤として日本文化の造詣を心に深めます。

中1生は茶道(都千家)、中2生は、華道(小原流)と向き合います。中3生は三味線を奏でます。

「人の子を預る以上は親心を以てこれに対すること」。新渡戸稲造が教職員に与えた心得です。家族のような絆が紡がれる学校で育ちたい。そう願う女子たちにとって忘れてはならない女子校です。

朗らかな”SMILE”が満ちる生活にあって、新渡戸文化の女子たちの理想は高らか。新渡戸稲造は今も彼女たちの師範。博士の言葉を集めた書物『夢に向かって』に励まされます。「Sense of Proportion (= 違いを認め合い、相手を思いやる心)」が支柱。国際的な感性と判断力・行動力を備える女性こそが新渡戸の名にふさわしい。美しい「凜」と内から醸す「品格」を兼ね備え、学んだことを実践し、相手を受け入れる寛大な心を磨きます。

● 大学進学 TOPICS

今春も、8割以上の卒業生が4年制大学へ現役合格を果たしました。

まず夢を抱こう。そして夢を目指して充実した日々を過ごそう。一人ひとりの夢に寄り添い心を配る指導が新渡戸文化の神髄。6か年を見通す進路開発計画が整います。講習や模試、進路ガイダンスなどが効率的に並びます。「学課を授くるに習育のみに偏せざるよう思慮と判断力の養成に努むること」は新渡戸稲造の訓示。受験対策のみに偏らず、系統的な体験学習を重ねる「リサーチ&プレゼンテーション」のプロセスが幹。彼女たちの学びは豊かに茂ります。

● 「One to one」の進路面倒見

高校3年生の進学対策では、一人ひとりに対して複数の教員がチームを組み個別指導。AO・推薦入試への対策も繊細。提出書類の添削は一人につき4回、面接練習は3人以上の先生が手ほどき。小論文やプレゼンテーションの力も万全に蓄えます。

● ドラゴンクラス

独自の個別コーチングシステムです。夢に向かって一般受験に挑む自発的、積極的な意欲に応え、国公立大学や難関私立大学への一般受験を支援します。高校1年生から各教科の「ドラゴン教員」たちが、生徒個々に適切な計画表を練り、進路達成までコーチします。

● School Lunch

50年以上前から完全給食制です。中1から高2までの全員と高3の希望者がカフェテリアに集い和やかなランチタイム。みんな食欲旺盛です。成長期に必要な滋養に満ちたメニューが美味しい!「食育」の一貫として、生涯の健やかな食生活を育みます。

